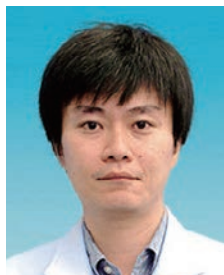




MWC2025 Japan Pavilion出展レポート



住友電気工業株式会社
情報ネットワーク研究開発センター
無線システム研究部
ワイヤレスアクセスグループ
グループ長

おがわ しょうへい
小河 昇平



住友電気工業株式会社
情報ネットワーク研究開発センター
無線システム研究部
高周波フォトニクスグループ
グループ長

いぬえ けんじ
自念 圭輔

1. MWCの概要

Mobile World Congress (MWC) は、GSMAが主催する世界最大級のモバイル・通信業界の国際展示会で、通信事業者、装置メーカー、政府機関、投資家などが一堂に会するイベントである。弊社は、多くの潜在顧客と直接対話し、新たな需要の発掘と顧客の獲得を目的に出展し、自社で開発した5Gミリ波に対応した産業用5G端末及びDAS (Distributed Antenna System: 分散アンテナシステム) の展示を行った。



■図1. MWC2025会場の様子

2. Japan Pavilionでの出展内容

弊社は2025年6月より販売を開始した産業用5G端末と開発中のAI搭載版5G端末の実機を用いた静態展示及び開発中のミリ波対応DASの動態展示を実施し、来場者に対し弊社製品と技術をアピールした。展示ブースは大変盛況で、時間帯によっては弊社の説明員が足りず、時間帯をずらして再度ブースにお越しいただいた来場者もいらっしゃった。

産業用5G端末、AI搭載版5G端末に関しては、静態展示した実機やカタログを用いて仕様を説明し、これまで実

施した工場や交通用途での実証実験のシステム構成図やデモ動画を用いて端末のユースケースについて意見交換した。特に産業用5G端末の特徴である屋外利用、5Gミリ波通信、エッジ処理などをアピールして意見を伺った。一方、ミリ波DASについては、5Gコア、基地局、端末、リアルハブティクスのコントローラ/アクチュエータを組み合わせ、事前に会場事務局との調整を行った上でミリ波電波を発射し、動態展示を行った。ミリ波DASはアナログRoF (Radio over Fiber: 光ファイバ無線) 技術を用いており、内部処理遅延が極めて小さい低遅延性を来場者に体験していただいた。

3. 出展の成果

来場いただいた複数の通信事業者から2025年度にローカル5G (プライベート5G) サービスの実用化を予定しているなど市場の盛り上がりを予感させる声をいただき、そこで必要となる5G端末について詳細仕様など多くの質問や意見をいただいた。特に産業用5G端末の特徴である屋外利用や5Gミリ波通信等に関連したサービス、PoCについて多数



■図2. 弊社展示ブースの様子



の引き合いがあった。さらに、AI搭載版5G端末に対しては、端末上でのAI処理による現場への即時フィードバックやクラウドとの負荷分散について肯定的な意見をいただいた。また、米国やインドにおけるミリ波FWA(固定無線アクセス)の広がりも追い風となり、今後のグローバル展開に対する期待も高まっていることが感じられた。今回の出展で得た顧客とのつながりや貴重な意見を生かして、弊社端末の実用化及び産業現場のDX化を進めていきたい。

一方、DASについては、ミリ波に対応していること自体が希少でかつ超小型化した子機(アンテナ含む)に対して数多くの関心の声をいただき、海外大手のシェアリング会社様は初めてミリ波対応DASをご覧になられ興奮されている様子であった。また、弾力性のあるボールなどを握るアクチュエータをDASを介して遠隔操作するデモも評判が良く、低遅延化の要素技術の1つであるアナログRoFについて

説明を求める反応を多くいただいた。ミリ波DASはまだ開発中であるため、製品化時期や具体的な仕様、子機の設置方法など来場者と意見交換し、今後の方向性を検討するのに有益な情報が得られた。これらの展示、対話を通じ、国内外の潜在顧客との接点構築に成功した。展示会後も対話を継続しており、5Gミリ波のユースケースを創出し、弊社製品の需要につなげていきたい。

4. おわりに

弊社はMWC2025のJapan Pavilionに産業用5G端末、AI搭載版端末及びDASを出展し、数多くの来場者と対話し、新たな需要、継続的な顧客との対話機会を得た。今回、展示会場への機材持込み、展示ブースの設計、ミリ波電波発射の事前調整などにおいて日本ITU協会の多大なるご協力をいただいた。この場を借りて感謝を申し上げる。

速報

第28回万国郵便大会議の結果 目時氏再選！

第28回万国郵便大会議は、9月8日(月)から万国郵便連合(UPU)の加盟国の代表等が参加し、UPUにおける重要事項の審議を行うため、アラブ首長国連邦のドバイで開催され、日本ITU協会は日本事務局を務めました。

会議では、国際事務局長・次長、管理理事会(CA(Council of Administration))・郵便業務理事会(POC(Postal Operations Council))理事国選挙が実施され、国際事務局長選挙で目時氏は再選を果たしたほか、日本国はCA・POC理事国に立候補し、当選しました。詳細は下記URLをご覧ください。

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu14_02000163.html



■選挙会場での目時氏